摂食嚥下ケア研修
開催要綱

趣旨

近年、介護施設での誤嚥・窒息による事故死を巡って、訴訟問題に発展し、介護施設が損害賠償請求を命じられる事案が少なくありません。介護施設においては、慢性的な嚥下機能の低下がみられる利用者の増加に伴い、さらなる誤嚥予防への取り組みが求められています。

本研修は、誤嚥予防につながる摂食嚥下ケアの新たな知識を習得し、各施設のケアの質向上、利用者の生活の質向上を目的に開催します。その他、安全な経口摂取および口腔ケアに必要な多職種との連携について学びます。

研修のポイント！

誤嚥性肺炎を防ぐ方法について学べます

多職種から、口腔ケアや食事ケア、嚥下機能訓練などを学ぶことで、摂食嚥下ケアにおける新たな視点を養います。

適切な口腔衛生管理が行えるようになります

歯科医師や歯科衛生士など、ケアに携わる多職種との連携を学ぶことで、充実した口腔衛生管理体制が構築できます。

他の施設の取り組みを知ることができます

誤嚥を予防するために、様々な取り組みを行っている施設の実践報告から、日々のケアに役立つ情報を得ることができます。

開催形式	オンライン（オンデマンド配信）
対　　象	高齢者・障がい者施設等に勤務する介護職員、看護師、栄養士、セラピスト等
配信期間	令和７年８月１２日（火）～９月３０日（火）
研修費用	**会員・準会員　５，０００円**　　非会員　１２，０００円
申込期間	令和７年６月１０日（火）～７月８日（火）
受講決定	令和７年７月１４日（月）までにメールでご連絡します。

下記期間は、本会入居ビル（かでる 2.7）臨時休館となるため、その間、
本会職員体制を縮小しての対応となります。
各種お問合せ等に時間を要する場合がありますので、予めご了承いただき
ますようお願い申し上げます。

臨時休館期間　令和７年９月１７日（水）～９月２６日（金）

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約９０分	**講義１** **「嚥下のメカニズムと口腔ケアの重要性」**	誤嚥を予防するためには、嚥下のプロセスを理解することが重要です。ここでは、高齢期における摂食嚥下のメカニズムを学び、誤嚥が起こる仕組みを理解します。また、誤嚥予防における口腔環境の重要性を理解し、口腔ケアの方法を学びます。
約６０分	**講義２** **「嚥下機能訓練の方法と食事ケア」**	食事の際には、飲み込みやすい姿勢にするための環境整備や食形態などへの配慮が求められます。また、日々の機能維持訓練も誤嚥予防には欠かせません。 ここでは、言語聴覚士による嚥下機能訓練の方法や食事ケアのポイントを学びます。
約６０分	**講義３** **「摂食嚥下ケアおよび口腔ケアにおける多職種連携について」**	経口摂取を維持するために求められる多職種連携の重要性やその方法について学びます。 また、摂食嚥下ケアおよび口腔ケアにおいて、先進的な活動や意欲的な取り組みを行っている施設から、その実践内容について報告いただきます。